

形成外科

1. 診療科の概要

診療内容は多岐にわたり、形成外科疾患全般に対して先進的な治療を行っている。

顔面、手足の先天異常、顔面外傷、熱傷、後天性変形、ケロイド、瘢痕、皮膚軟部組織腫瘍、腫瘍切除後の組織欠損に対する再建が主体である。特に、小耳症などの体表先天異常では全国から多数の患者が受診し、最新の術式で治療を行っている。また、全国でも数少ないまぶたの外来を開設し、眼瞼下垂などの眼形成外科疾患を多数扱っている。重症熱傷では極東ロシアから患者を受け入れて治療を行っている。

口腔外科、耳鼻科、外科、脳神経外科など院内他科からの再建依頼が多く、チームサージャリーによる腫瘍切除後の欠損に対する再建術を多数こなす。その他、広範囲熱傷に対する培養表皮移植、ケロイドの電子線照射を併用した治療、マイクロサージャリーを駆使した機能再建の開発にも取り組んでいる。

2. 臨床研修指導医

指導責任者（科長）：四ッ柳 高敏

指導医：山下 建、加藤慎二、北 愛里紗、北田 文華、宮林 亜沙子

3. 研修担当者

氏名：山下 建

連絡先：yama-ken@sapmed.ac.jp

4. 研修初日の集合時刻と集合場所

- ・ 集合時刻：月・水・金 8時55分、火・木 8時45分（手術日のため）
- ・ 集合場所：臨床教育研究棟 13階 形成外科学講座

5. 到達目標

- ・ 外来または病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応ができる。
＜熱傷・外傷＞
- ・ 外来または病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたることができる。
＜高エネルギー外傷・骨折＞
- ・ 術創の閉鎖や外傷時の創縫合などの際に、形成外科的縫合技術を用いて対応することができる。

6. 研修内容

形成外科及び内科（外科）一般の検査法、治療法、主要疾患について研修する。また、研修中に経験した1症例に関し、指導医のもとに症例報告を行なう。

(1) カンファレンス

- ・ 術前・術後／新患・入院退院カンファレンスを木曜日7時30分から行う。
- ・ 手術カンファレンス… 今・次週施行予定の手術について、執刀医を中心として検討を行う。

7. 研修医の主な業務

- ・ 病棟業務（患者処置および処置介助、カルテ記入、臨床検査、生理検査）
- ・ 外来業務（外来補助、患者処置介助）
- ・ 手術助手
- ・ カンファレンス参加・準備、勉強会への参加、症例報告発表スライドの作成
- ・ 指導医による縫合演習

8. 研修スケジュール

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月			病棟処置、外来 (形成外科一般、まぶたの外来)						他科再建手術 等			
火		手術										
水			病棟処置、外来 (教授外来、形成外科一般)					手術			勉強会	
木	カンファ レンス	手術										
金			病棟処置、外来 (形成外科一般、レーザー外来)				褥瘡回診、乳房再建手術 等					

9. 初期臨床研修時の症例を活用できる専門医資格

日本形成外科学会 形成外科領域専門医（事前に日本形成外科学会への入会が必要）

10. 研修協力施設

- ・ たすきがけ研修病院（協力型臨床研修病院）
砂川市立病院、小樽市立病院、函館五稜郭病院
- ・ 短期研修可能な施設（臨床研修協力施設）
北海道医療センター